



健康かながわ

今月の主なニュース

第4回よこはま健康経営会議 開催
 神奈川県保健研究会
これからの養護教諭とは
 国士館大学文学部教育学科 教授 鈴木 裕子
「保健室」
 二宮町立二色小学校 富樫 育代
厚生省・がん対策世論調査
がん治療と仕事の両立困難6割
 ピンクリボンサポーター⑤
(株)落合コーポレーション
 ーパドミントン大会を通し、輝く女性を応援ー



がん検診受診率とナッジ —行動変容を促すヒント—

がん検診をなぜ受けないのか?
 日本のがん検診の受診率が上がらない現状に、医療・保健にたずさわる人であれば多くの方が「なぜ?」と不思議に感じていると思います。国の調査結果(平成19年)を見ると、未受診理由のダントツ1位は「たまたま受けていない」です(図)。私が専門としているソーシャルマーケティングの世界では、「買ったくない理由があるから人が買わない」と「買う理由が特にないから人が買わないもの」は明確に分けて考えます。

図 がん検診の未受診理由(上位5位)

たまたま受けていない	28.8
健康状態に自信があり必要性を感じないから	17.3
心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	16.9
時間がなかったから	15.9
面倒だから	15.4

「がん対策に関する世論調査」(内閣府・平成19年度)

昨年、厚生労働省は、がん検診の受診率向上を促進するため「受診率向上施策ハンドブック」(第2版)を発行し、その中で行動科学の知見として最近注目されている「ナッジ理論」を活用した先進的な取り組みを紹介している。このハンドブックの企画・制作に協力したのが(株)キャンサーズ。今月号では、同社の代表取締役社長で大阪大学大学院特任講師の福吉潤氏に、ナッジ理論を活用したがん検診の受診率向上について寄稿いただいた。

見なのですから。嫌がっている人を検診に連れてくるなら強い説得が必要で、しかも、いつかは受けようという意図はあっても特段「今」である必要を感じていない人にはナッジが効きます。

いま流行りのナッジとは?
 本日に流行っているのか?とお思いかもありませんが、大阪大学の平井啓先生らと書いた『医療現場の行動経済学』(東洋経済新報社)というナッジの本は、Amazonの医学書の第1位をかざり、発売から1年足らずで5刷を超え、いまや韓国語・中国語にも訳されています。世界が気になるそのナッジとは何なのでしょう。

「正しい情報を伝える」と、人が正しく行動する」、そんなわけがないことは皆さん実は経験的に知っていますよね。ところが、皆さん、ご自分の仕事となると、相手を「動かす」ためにしていることは、やはり「正しい情報を伝える説得する」ことをしていることが多いのではないのでしょうか? 特に医療・保健に関係したお仕事をされている方々に多い印象を受けます。

人は情報を解釈するとき、さまざまな種類の「バイアス」を受けています。一見、非合理的に見える他人の行動も、「バイアス」を通して解釈した本人にとっては合理的な行動であることが多いのです。人が「バイアス」に支配されることを嘆くのではなく、どのようなバイアスがどのよう働くかをあらかじめ計算したうえで、情報の見せ方(メッセージ)を工夫・

パターンA (はがき裏面)

今年5月下旬、ご自宅に『大腸がん検査キット』をお送りしました。

H市では、前年度に大腸がん検診を受診された方へ、『大腸がん検査キット』をお送りしています。

今年度、大腸がん検診を受診された方には、**来年度、『大腸がん検査キット』をご自宅へお送りします。**

まずは、実施医療機関にご予約を...
 市から5月にお送りした「検診ガイド(医療機関一覧表)」でご確認の上、医療機関に電話でご予約ください。

パターンB (はがき裏面)

今年5月下旬、ご自宅に『大腸がん検査キット』をお送りしました。

H市では、前年度に大腸がん検診を受診された方へ、『大腸がん検査キット』をお送りしています。

今年度、大腸がん検診を受診されないと、**来年度、ご自宅へ『大腸がん検査キット』をお送りすることができません。**

まずは、実施医療機関にご予約を...
 市から5月にお送りした「検診ガイド(医療機関一覧表)」でご確認の上、医療機関に電話でご予約ください。

伝達し、人の行動を正しい方向に促す。それがナッジの基本的な考え方です。

ナッジの事例
大腸がん検診の受診率向上

先に少しだけ触れた「さまざまな種類のバイアス」の紹介・説明は紙面の関係として、1つだけナッジを活かした事例を紹介したいと思います。ここではプロスペクト理論というものを紹介します。ノーベル経済学賞をとった素晴らしい理論なのですが、ひとことでいえば、「人は得を避けることよりも、損失を回避することを重視する性質(傾向・バイアス)を持つ」ということです。

大腸がん検診の受診率は年々徐々にながって来ているのですが、翌年のリピーター受診率が低い状況です。東京都江都市では、リピーター受診を促進するため、昨年度の大腸がん検診受診者に対して、年度の始めに便検査キットを自動で送るといった仕組みを採用しています。受診者にしてみれば検査キットを医療機関に取りに行く手間が省けるわけですが、しかし、便検査キットの送付が有効だといっても、便検査キットを送付した人のうち実際に受診した人は約7割に留まっています。そこで、平成28年度にH市では、「便検査キットを受け取ったはずにも関わらず受診していない人」にはがきで受診勧奨をすることにしました。

その受診勧奨はがきのメッセージとして2つのパターンを用意しました。パターンAは「今年度も大腸がん検診を受診してください。来年度も便検査キットを送付します」という「得」

を強調したパターン。パターンBは「今年度も大腸がん検診を受診してください。来年度は便検査キットが送付されません」という「損」を強調したパターンです(注意・もし来年度キットが送られてこなくなつたとしても、キットを自分で取りに行くという市の通常のプロセスをとれば検診を受けることは可能です)。

行政のメッセージとして考えればパターンAが一般的だと思いますが、プロスペクト理論をあてはめると損を強調したパターンBのほうが効くはずなんです。

実際どうだったのでしょうか? パターンAを受け取った人の受診率が23%だったのに対し、パターンBを受け取った人の受診率はその1.3倍の30%でした。この差を大きくとみると、どうでしょうか、パターンA・Bの印刷費・郵送料ともにもまったく同じです。お金をかけずにたった数行のメッセージを変えるだけで人の行動が変わった、そこにナッジの素晴らしさがあるのです。

ナッジの今後

前述の事例で見たように、ナッジは、誰かを強制・説得するわけでもなく、お金もかけず、ちょっとした工夫で人の行動を促す素晴らしい理論・技術です。医療・保健はおろか、さまざまな分野に活かすことが可能であることをだんだん多くの人が気づき始めています。その大きなポテンシャルと比較すると、ナッジの活用方法はまだまだ発展途上です。今後も現場発のさまざまな活用事例が待たれるところです。

を強調したパターン。パターンBは「今年度も大腸がん検診を受診してください。来年度は便検査キットが送付されません」という「損」を強調したパターンです(注意・もし来年度キットが送られてこなくなつたとしても、キットを自分で取りに行くという市の通常のプロセスをとれば検診を受けることは可能です)。

行政のメッセージとして考えればパターンAが一般的だと思いますが、プロスペクト理論をあてはめると損を強調したパターンBのほうが効くはずなんです。

実際どうだったのでしょうか? パターンAを受け取った人の受診率が23%だったのに対し、パターンBを受け取った人の受診率はその1.3倍の30%でした。この差を大きくとみると、どうでしょうか、パターンA・Bの印刷費・郵送料ともにもまったく同じです。お金をかけずにたった数行のメッセージを変えるだけで人の行動が変わった、そこにナッジの素晴らしさがあるのです。

健康経営のポイントは 全社一丸の組織づくりから

第4回よこはま健康経営会議

企業 働く人たち

横浜市では、「健康経営」の普及を積極的に推進している。同市では企業・関係団体との一層の連携を深めるために「第4回よこはま健康経営会議」(主催・横浜市、健康経営会議実行委員会)を1月20日ランドマークホールで開催した。



江崎禎英氏

当日は行政官として立ち上げから健康経営のプロジェクトを担った、経済産業省商務・サービスグループ政策統括調整官兼厚生労働省医政局統括調整官兼内閣官房健康・医療戦略室次長・江崎禎英氏の基調講演と健康経営を推進して横浜健康経営認証AAAを受賞した企業から、二社の事例発表と

従業員を幸せにする 健康経営

なぜ、健康経営が必要か
これまでの経営は、高度経済成長モデル・右肩上がりでの発展の視点が大半を占める。徹夜も残業もしょうがない。昼食を抜いても、

「健康経営を本人に任せているうちは、絶対にうまくいかない」ことは、いまや常識。従業員は誰の顔を見て仕事をしているか。そこで、経営者をなんとか説得しようとしたのが、健康経営だった。

人生の中で長い割合を占める働く時間。健康経営は企業にとっても、働く人にとっても重要な問題である。幸せにする4因子

人生100年時代の生き方
従業員が幸せに働く。これを実現するのが健康経営。特に大事なことは、幸せは伝染する。自分が暗い顔を

健康経営認定
取得事業所が急増
横浜健康経営認証の区分は【クラスA】【AA】【AAA】の3クラス。認証の期間は2年で開催途中からのクラスアップも可能である。

健康経営が効果的になるには、まず、組織づくりを第一歩。経営者まで一緒に、全社員が一体になつて取り組む。景気の悪い時代こそ、健康経営が効果を発揮する。リーマンショックで軒並み企業が倒れた時にも、健康経営で見事に再生した会社があった。

成功事例や課題解決を横展開して、健康経営の仕組み作りを

パネルディスカッションでは会場からの質問を中心に



パネルディスカッションでは、江崎氏、事例発表をした(株)ヨコレイ・福田耕士専務取締役と大塚製薬(株)横浜支店ニュートラシューティカルズ事業部・榎本英雄次長に加え、横浜市から健康福祉局健康安全部保健事業課・室山孝子担当課長、経済局ライフイノベーション推進課・石津雄一郎担当課長がパネリストとして登壇。

会場から寄せられた質問に回答する形で進められた。「健康寿命を伸ばすには本人任せでは限界がある」と「健康経営が成功しているのは日本だけで、世界から関心を集めている」(江崎氏)、「社内の禁煙だけでなく喫煙者の採用をやめた」(福田氏)、「事業所に女性が増えたので女性の健

康課題推進担当を作り、女性のヘルスリテラシー向上に取り組んでいる」(榎本氏)。また、「継続するためにはどうすればいいか」という質問には「PDCAを回して課題解決を進めていく」(室山氏)、「効果の見える化が必要」(石津氏)など、参考になる情報や取り組みのモチベーションを上げるための回答が寄せられた。



会場には健康経営をサポートする企業のブースも

良好ならば、人はどんな困難な課題にも立ち向かえる。リーダーによって組織のパフォーマンスが劇的に変わる。トップとの関係が良好なら無駄な仕事は激減し、関係が悪いといくらやっても先に進まない。どんな優秀な人を集めても半径5メートル以内の人間関係が良好でなければ、パフォーマンスは上がらない。いい人を集めればよい仕事ができるのではない。



1月20日に行われた認証授与式。荒木田百合・横浜副市長より認証が授与された。



200事業所が取得・更新

横浜健康経営認証



横浜市では、従業員の健康保持・増進の取り組みが、企業の収益性を高める投資であることに加え、経営的視点から戦略的に健康づくりを実践する「健康経営」を推進している。健康経営に積極的に取り組む市内事業所を、「横浜健康経営認証」事業所として、認証している。

今年度、新規に認証を得たのが130事業所で、クラスアップしたのは31事業所であった。また2年間の認証期間を過ぎ、更新した事業所が39事業所あった。合計200事業所が健康経営認証の更新取得・更新を行った。

今年度、新規に認証を得たのが130事業所で、クラスアップしたのは31事業所であった。また2年間の認証期間を過ぎ、更新した事業所が39事業所あった。合計200事業所が健康経営認証の更新取得・更新を行った。

今回、横浜健康経営認証を取得・更新した200事業所を業種別にみると建設業、医療・福祉、金融、保険業、サービス業、製造業、情報通信業といった業種が上位を占めている。当協会は横浜市のこれらの取り組みを支援するため、横浜市大と連携し「横浜市経済局健康経営支援拠点モデル事業」として金沢区内の中小事業所の健康経営を支援するためにLIN K A I横浜金沢ウエルネスセンターを一昨年、7月にオープンさせている。活動の詳細はセンターのHPをご覧ください。

これからの養護教諭とは



学校子どもたち

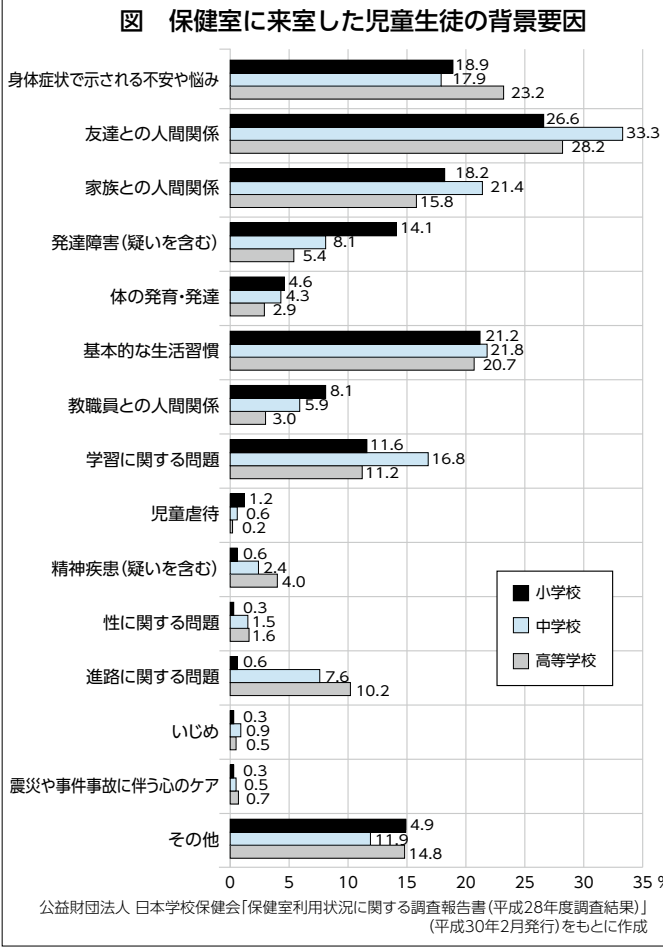
世間では「養護教諭」＝「保健室の先生」というイメージがあるが、養護教諭の仕事は多岐にわたり、実際その仕事を正しく理解している人は少ない。今号では、日本養護教諭教育学会で常任理事を務め、養護教諭教育に尽力している国士館大学文学部教育学科・鈴木裕子教授(写真)に、いま求められる養護教諭の役割について寄稿いただいた。

養護教諭のイメージ

養護教諭の仕事は何でしょうか。一般社会ではどのように認識されているのでしょうか。ドラマや漫画の中には、「保健医」「学校看護師」などという誤った名称が使われたり、ミニスカートの上に白衣をま



た現実離れた姿が描かれたりしているものがあり、がっかりすることがあります。養護教諭の職務のイメージは年代によって異なり、近年は「話を聞いてくれる」「心のケアをする」というイメージが強いです。養護教諭志望で入学してきた学生から「養護教諭になるためのなぜ看護の勉強をするのだらうか」と聞いた時にはとても驚きました。



変化する養護教諭の仕事

その活動内容は時代と共に変化してきました。戦後は栄養不良、結核、寄生虫などへの対応と清潔指導が主でした。やがて経済成長に伴い増えてきたむし歯、運動不足、肥満、視力低下、基本的な生活習慣の乱れなどの課題が徐々に増加し、養護教諭は健康教育に力を注ぐようになります。80年代になると少年非行、いじめ、不登校などが社会問題となる中、性に関することや喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、心の問題にかかわることの比重が増してきました。

これらは対象とする子どもたちの健康実態に応じて自ずと変化してきたものといえます。平成9年の保健体育審議会答申で、養護教諭の新たな役割「健康相談活動」が示されました。しかしこの一児童生徒の様々

な訴えに対して常に心的な要因や背景を念頭に置きながら行う心や体の両面への対応」は、決してこの時から始まったわけではなく、それ以前から養護教諭が行ってきたことを追認したにすぎません。つまり現場の方が先行しているのです。

子どもへの手当てだけでなく 保護者・教職員の連携役に期待

以上で養護教諭複数配置の小学校では51・5人となっています。

保健室を訪れる理由は、小学校では「けがの手当て」中学校・高等学校では「体調不良」が多いのですが、単にその応急処置を求めているとは限りません。ていねいな観察によりその訴えの背景を洞察し、健康相談の必要性にいち早く気づくことも養護教諭の大切な役割となっています。また、

現在の養護教諭の役割

近年の学校現場では、アレルギー疾患、発達障害、貧困、児童虐待、スマホや

保健室

二宮町立一色小学校 養護教諭

とがし いくよ 富樫 育代

一宮町の高台に位置する一色小学校には、校庭の中に大きな山があり、子どもたちが駆け回って遊ぶのはもちろん、梅、たけのこ、栗、ゆずなど四季折々の自然の恵みとの出会いも魅力です。



一色小の子どもたちは豊かな自然に囲まれ、たくのこのようにのびのびと素直です。休み時間に

は、学年の垣根を越えてたくさん子どもたちが校庭で遊んでいます。

課題解決のために

約3分の1の学校には保健室登校の子もいるという結果も示されています。

これらの課題解決のためには、組織的な対応が必要です。そのため養護教諭には、保護者や校内の教職員との連携、医療や福祉など学校外の専門機関との連携のコーディネート役割を果たすことも期待されています。

養護教諭は保健室にいる

だけでなく、日ごろから校内を回り、子どもたちに声をかけ、教職員との情報交換を積極的に行います。そして気づいたことを報告し、1人で抱えず組織的対応につなぎます。非常勤のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや、学校医・学校歯科医・学校薬剤師らとの協力関係づくりも大切です。

教職員や保護者が子どもの心身の変化に気づけるよう

私の1日は昇降口の近くに立ち、登校した子どもたちと朝のあいさつをするところから始まりです。今日は元気なあいさつが多いな、あの子はいつもの明るさがないな、と顔を合わせ、言葉を交わすことで気づけるさまざまな表情に触れられていると思います。

普段は元気いっぱいの子もたちですが、毎日の生活の中で心が揺れ動き、しんぞきを抱えて保健室へやってくることもあります。子どもの話を聴きながら、一緒に気持ちを

に専門的視点から情報を発信したり、いざという時に適切に対応できるように校内体制づくりや校内研修会の企画・運営を行ったりすることもあります。その意味では、コミュニケーション力、企画力、情報発信力、調整能力や、データや資料の整理、分析力も大切だといえます。

これからの養護教諭

前述した職務のほかに、

もちろん従来と変わらず健康診断、救急処置、疾病予防と管理、学校環境衛生管理、保健教育への参画や啓発活動、保健指導、保健室経営、学校保健委員会等の組織活動など専門領域における大切な職務がたくさんあります。

一方で新学習指導要領の施行が迫り、教育内容も大きく変わろうとしています。養護教諭もその内容に関心をもち、健康教育の充実のために積極的に関わっていくことが重要だと考えます。

情報技術の急速な進歩、災害や新たな感染症の発生

ちを整理していくことで、自分自身の思いや悩みに向き合えるような働きかけに努めています。泣いていたり、怒っていたりと、浮かない表情だった子どもが、保健室へ来た時よりも少し明るい表情で教室へ戻る姿を「いつてらっしゃい」と見送る瞬間は、子どもが自ら成長していくための第一歩だと感じます。

これからも子ども自身の成長する力を信じ、成長しようとする子どもたちを見守る保健室であり続けたいです。

など予測困難な時代といわれるなか、子どもたちによりよい支援をしようと思うと、為すべきことには限りがあります。養護教諭がたった1人か2人ですべてを推進していくのは困難です。またなかには力量を認められ、本来の職務に加えて児童・生徒指導のリーダーや、特別支援教育のコーディネーターを指名されさらに多忙化する養護教諭もいます。

働き方改革の視点から、まずは自校の子どもたちの実態を的確にとらえ、重点を置くべき活動を考え、できることから、教職員と共に計画的に取り組めるようにします。

また実践を形にして保護者や社会に発信し、養護教諭の仕事への理解も広げていきたいものです。

これまでの養護教諭が歩んできた道を引き継ぎ、時代が変わろうとも、教育職員として子どもたちの健康な成長・発達を支援するために自らも成長している養護教諭であることを期待します。



写真提供: 神奈川新聞社

ぶらり神奈川 フォト紀行



松田町・西平畑公園「松田山ハーブガーデン」

松田山の中腹にあり、晴れた日には富士山や相模湾を一望できる町の展望台的な公園です。園内には、季節のハーブが楽しめる「ハーブガーデン」と体験工房やレストランを併設した「ハーブ館」を始め、ミニバスに乗れる「ふるさと鉄道」、見晴らしの良い斜面にある大きな滑り台、子どもに人気の「子ども館」自然や科学を体験できる「自然館」などがあります。(開園時間/10時~16時 休園日/月~木曜日) 2月8日~3月8日には「まつだ桜まつり」が開催され、河津桜と菜の花と富士山が、一度に楽しめます。

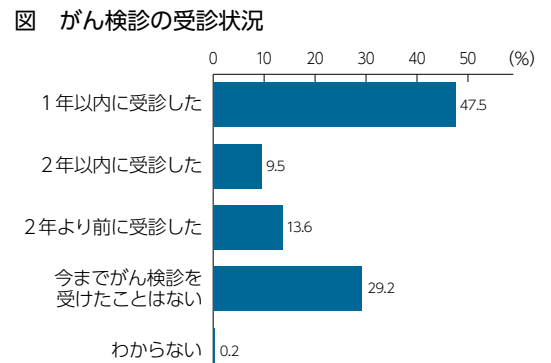
松田山の中腹にあり、晴れた日には富士山や相模湾を一望できる町の展望台的な公園です。園内には、季節のハーブが楽しめる「ハーブガーデン」と体験工房やレストランを併設した「ハーブ館」を始め、ミニバスに乗れる「ふるさと鉄道」、見晴らしの良い斜面にある大きな滑り台、子どもに人気の「子ども館」自然や科学を体験できる「自然館」などがあります。(開園時間/10時~16時 休園日/月~木曜日) 2月8日~3月8日には「まつだ桜まつり」が開催され、河津桜と菜の花と富士山が、一度に楽しめます。

厚労省 がん対策世論調査

がん治療と仕事の両立困難6割

がん検診を2年以内に受診した人は57%に達している一方で、今まで1度も受診していない人の割合が3割。また、がんの治療と仕事の両立が困難と思う人の割合は6割を占めていることが、昨年内閣府より公表された「がん対策に関する世論調査」でわかった。

今や日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人はがんで亡くなる時代。がんを早期に発見し、適切に治療を行うことが何よりその対策となる。その第一歩が、がん検診。今回の世論調査によると、1年以内にがん検診を受診した人は47.5%、2年以内に受診した人は9.5%とあわせて57.0%であった。一方、今までがん検診を受けたことがないと回答した人は29.2%と3割の人が受診していなかった。その理由として最も多かったのが「受ける時間がないから」。



そう思う	12.8	計	37.1
どちらかといえばそう思う	24.3		
どちらかといえばそう思わない	34.5	計	57.5
そう思わない	23.0		
わからない	5.5		

がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難	23.5
代わりに仕事をしてくれる人がいない、いても頼みにくい	20.9
職場が休むことを許してくれるかどうかわからない	19.1
休むと収入が減ってしまうから	16.6
がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難	12.5
休むと職場での評価が下がる	5.1

Pink Ribbon Supporter ⑤

ピンクリボンレディースバドミントン大会実行委員

(株)落合コーポレーション

『ピンクリボンレディースバドミントン大会』を通し乳がんの正しい知識を広め、輝く女性を応援

バドミントンのシャトルコックメーカー・落合コーポレーションは、「バドミントンを通して、いつまでも輝く女性を応援したい」というコンセプトの下、2015年から毎年秋に『ピンクリボンレディースバドミントン大会』を開催している。

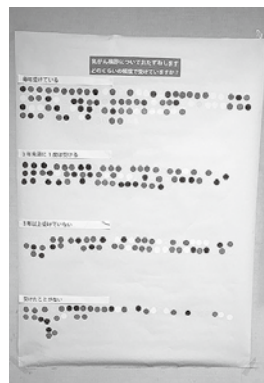
2013年、女性向けシャトルコックの商品化を模索しているときにピンクリボンかながわを知ったことが、ピンクリボン活動に協力するきっかけとなった。事務局からアドバイスをを受け、ピンク色のパッケージにピンクリボンのロゴと啓発フレーズをいれた『UBERCAP』を2015年に発売。その年に初の大会を開催し、会場内にピンクリボンかながわの啓発スペースを設置した。選手からは、試合と同時に乳がんの知識も得られるというスタイルは大好評で、新聞にも取り上げられた。

5回目となる2019年の大会から、

実行委員会を設立。ミュンヘン五輪やユーバー杯の金メダリスト・中山紀子氏を会長に迎え、大会に華を添えた。ピンクリボン活動の一環として、選手へのピンク色を身につけることの呼びかけや、おなじみとなった啓発スペースの設置などから、「この大会に参加すると乳がん検診を意識します」という声があがった。

また、以前の大会で正しい自己触診法を聞きセルフチェックをしたことから、乳がん発見につながり、治療を乗り越えて、この大会に戻ってきたのだと喜びの声を届けてくれた選手に、スタッフ一同うれし涙がこぼれたという。

「ここまで来られたのは周囲の皆さまのおかげ。今年の大会は、スタッフ一同、さらに喜んでいる大会を目指します!」と、落合コーポレーションの落合代さん。



会場でも乳がん検診の受診状況を尋ね、該当欄にシールを貼ってもらったグラフ



ホールに設置したピンクリボンブースには、試合の合間に選手も訪れた

病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思えるか質問したところ、「そう思う」と答えた人が37.1%だった。それに対し、「そう思わない」と答えた人は57.5%と6割近くに達していた。「そう思わない」と回答した人に理由を尋ねたところ、「体力的に困難」

が23.5%、最も多く、次いで「代わりに仕事をしてくれる人がいない、いても頼みにくい」が20.9%、職場が休むことを許してくれるか、休むと収入が減ってしまうから16.6%、がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難12.5%、休むと職場での評価が下がる5.1%と続いた(表)。



第15回がん克服シンポジウムが1月18日、神奈川県総合医療会館で開催された。今回は「正しく知ろう最新のがん医療」をテーマに、立がんセンターの大川伸一病院長(写真)による「がんを治すための最新知識」と北里大学医学部の佐々木治一郎教授による「がんゲノム医療って何?」の2つの講演が行われた。

最新のがん医療を学ぶ

がんは早期であればあるほど生存率も高く、治療法の選択も多く、その後の人生を有意義に過ごすことができます。受診しない理由で「時間がない」が最も多いですが、半日程度で受診できるので、忙しいときほど自分の体をケアしてほしいです。また、今、働き

方改革も謳われ、自治体や企業では治療と仕事の両立支援が進み始めています。実際にがんであっても働き続けている人も増えており、がんに関心したとしても主治医や会社のスタッフと連携して少しでも多くの方々へ理解と支援をしていただきたいと思えます」と話す。

個人情報の取り扱いについて

当協会では、本紙を送付している皆様について、送付に必要な情報(氏名・住所・所属など)を送付名簿として保持しております。この個人情報は当協会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で、今後も継続して送付したいと考えております。送付名簿から削除・訂正を希望される場合には、健康創造室企画課(☎045-641-8505)までご連絡ください。

『健康かながわ』は、当協会のホームページからご覧になることができます

健康かながわ 検索

今後、WEB上で見るので郵送は不要だと思われる方は、下記アドレスまでご連絡ください。また、『健康かながわ』についての、ご意見・ご感想などもお寄せください。☎kenkana@yobouigaku-kanagawa.or.jp

